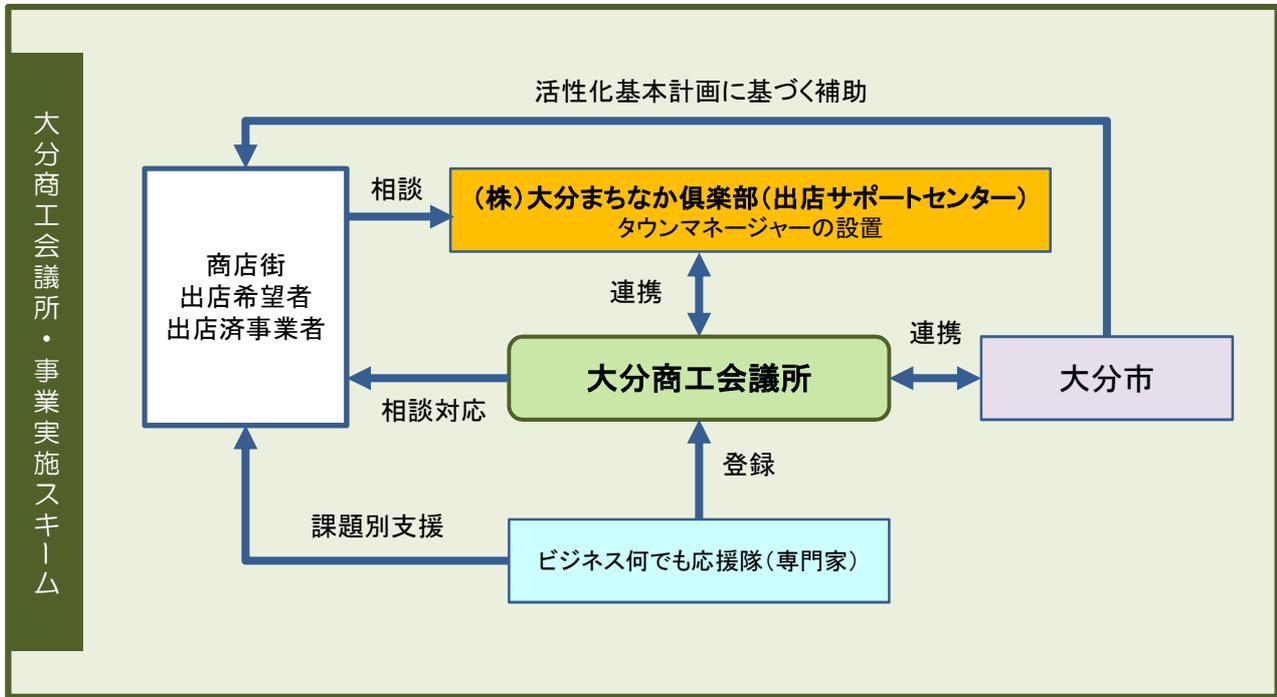


大分商工会議所
まちづくり会社によるテナントミックス事業を個別支援

2. 支援組織・連携スキーム



(1) 大分市と連携した支援スキーム

①商都復活支援事業

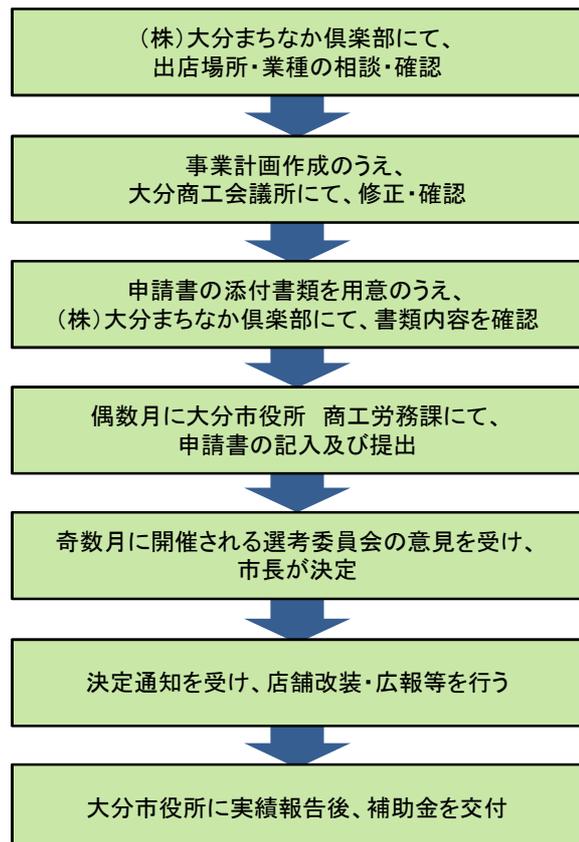
前述の商都復活支援事業は、空き店舗対策の「まちなか出店支援事業」、店内に公共性の高いトイレを整備する「トイレ整備事業」、公共イベントスペースで集客力の高いイベントの開催に助成する「イベント開催事業」などの6つの制度で成り立っている。なかでも「まちなか出店支援事業」は、まちづくり会社が窓口となって、商工会議所の経営指導員が採択後も1年間にわたりハンズオンで経営支援し、ケースによってオンリーワン企業等支援事業を適用するという手厚い支援制度となっている。



商店街出店事業者向けに企画された商工会議所支援事業「オンリーワン企業等支援事業」

②補助金交付の流れ

まちなか出店支援事業に基づく補助金交付の流れは以下の通りである。



大分商工会議所
まちづくり会社によるテナントミックス事業を個別支援

3 成果

① 出店ペースが10倍となり、退店率も低位維持

(株)大分まちなか倶楽部(出店サポートセンター)による官民連携のテナントミックス推進スキームを構築したことにより、従来の空き店舗対策事業での出展店舗数が1年間に3件ペースであったものが、2年で10倍の30件ペースとなった。空き店舗率も8.4%と低水準を維持している。

更に、従来50%近かった退店率がわずか6%と低い水準になっている。

テナントミックスと商工会議所による個別支援が奏功していると思われる。



ギャラリー竹町商店街のギャラリーアトリウム

② 適切なテナントミックスによる効果

まちづくり会社であるが故に、出店希望者にNOと言える適切なテナントミックスを遂行している。

特に、働く若い女性をターゲットに、美容、健康分野の出店に注力した。

物販消費から時間消費、大型店からダウンサイジングの流れに適合した業種店への移行を実現した。



平成27年4月オープン of 県立美術館まちなか支局

4 今後の計画

① 激変する商業環境への対応

駅高架や区画整理など、大型ハード事業で商業環境の激変が予想されている。そのような環境変化の中で、各商店街がそれぞれの特徴や課題に対応した取り組みを行うための組織を大分市とまちづくり会社が連携して構築する。

買い物や食事の的確に対応した個店や商店街の魅力の創出を推進する。

② コミュニティとの賑わいスキームの構築

来街者や居住者への新たなまちの魅力の提供や、テナントミックスによる時間消費型店舗の新規出店との相乗効果により、来街者や居住者が再来街する動機を拡大するとともに、長い時間楽しく過ごすことができるまちを目指す。

アート、音楽イベント、歴史文化等の市民活動など買い物以外での来街動機を創出する。

5 地域活性化のポイント

- ① 大分市と大分商工会議所が連携し、出店事業者への補助金交付及びハンズオンでの経営支援を手厚く行っている。
- ② まちづくり会社である(株)大分まちなか倶楽部がワンストップで情報管理しており、事業者の幅広いニーズに対応できる体制を構築している。
- ③ まちづくり会社故にNOと言える適切なテナントミックスを遂行できている。
- ④ 商工会議所の独自の商店街支援事業「オンリーワン企業等支援事業」における事業者別支援メニューが課題別に整備されており、事業者の売上向上や資金繰り改善に寄与している。